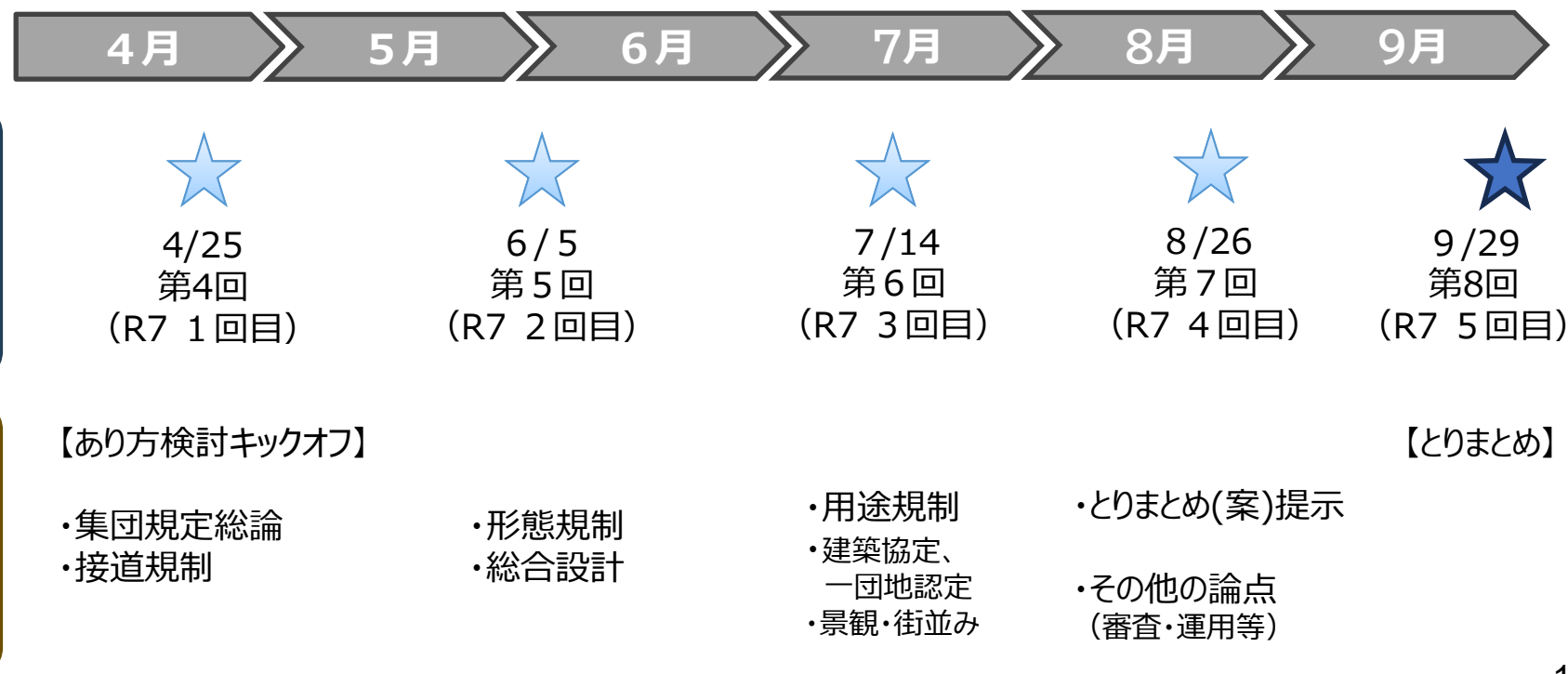


集団規定の中長期的なあり方に係る 論点とりまとめ(案)について

国土交通省 住宅局 市街地建築課

○建築分野の中長期的なビジョンの策定に向けて、建築基準法の集団規定については、令和7年4月より「集団規定に係る基準検討委員会」を5回開催し、今後の集団規定の中長期的なあり方について議論。

○各回では、テーマ毎に検討の論点(「～について検討すべきではないか」等)や検討の方向性、課題・留意点等について意見交換を行い、中長期的なビジョンの検討に向けた論点整理を行った。



建築分科会での中長期的なビジョンの検討予定

令和7年4月18日 第47回建築分科会・第21回建築基準制度部会・第25回建築環境部会

- ・審議会の進め方
- ・今後の建築基準制度のあり方及び住宅・建築物の省エネ対策のあり方に関する検討について

- ・建築分野の中長期的なあり方に関する懇談会
 - ・集団規定に係る基準検討委員会
 - ・建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会(案)
- 等の枠組みを活用しつつ、中長期の課題の洗い出し等を実施

○開催時期等：R7.4～9月（5回開催）

○実施方法：

- 「集団規定（用途、形態、接道、その他）のあり方」をテーマとして論点提起・議論
- 論点を整理し部会へ報告

令和7年10月16日 第48回建築分科会・第22回建築基準制度部会・第27回建築環境部会

- ・今後の建築基準制度のあり方及び住宅・建築物の省エネ対策のあり方に係る検討状況について
- ・検討の方向性（素案）

- ・建築基準制度部会
 - ・建築環境部会
- において、それぞれ今後のあり方について数回議論

※「集団規定に係る基準検討委員会」は必要に応じて開催

令和7年12月頃 建築基準制度部会・建築環境部会

- ・建築分科会への報告案について

パブリックコメントの実施を想定

令和8年1月頃 建築分科会等 中間的なとりまとめを予定

引き続き具体的な課題について議論

※「集団規定に係る基準検討委員会」において、「中間的なとりまとめ」を踏まえて議論

令和9年春頃 中長期的なビジョンのとりまとめを予定

論点とりまとめの建築分科会への報告に向けて

■ 本委員会での議論のとりまとめ

第4～7回の事務局資料で示した「論点」例の単位で1つの論点の項目（＝中論点）を構成し、留意点、検討の方向性、具体的な取組の方向性（短期的／中長期的）へ整理している。

2-1. 市街地の安全性や防災性を確保するための方策はどうあるべきか。

中論点	留意点	検討の方向性	具体的な取組の方向性	
			短期的	中長期的
狭あい道路沿道の建築物の更新を促し安全性を確保するため、どのように取り組むべきか。	...	...	...	...



■ 建築分科会への報告

大論点（1. 2. 2-1.・・・のまとめ）ごとに留意点、検討の方向性、具体的な取組の方向性を包括的に整理する。

論点	留意点	検討の方向性	具体的な取組の方向性
2-1. 市街地の安全性や防災性を確保するための方策はどうあるべきか。	● ...	● ...	● ...